

\\ 150周年キャンペーン 第2弾 //

レーザ回折式粒子径分布測定装置

SALD-2300

他社装置からの
乗り換えに限り

516 (税抜) 万円

2025年12月末まで

台数限定
15 台



1875（明治8）年に創業した島津製作所は、2025年に創業150周年を迎えました。150年の感謝の気持ちを込めて、レーザ回折式粒子径分布測定装置 SALD-2300 を、他社装置からの乗り換えの場合に限り 516 万円（税抜）の特別価格でご用意しました（15 台限定）。SALD-2300 本体、多機能サンプラ SALD-MS23、PC・モニターを組み合わせた、すぐにお使いいただけるセットでのご提供です。他社装置からの更新の際には、ぜひ本キャンペーンをご検討ください。

キャンペーンセット内容



SALD-2300 本体



多機能サンプラ
SALD-MS23



※画像はイメージです

デスクトップ PC・モニター

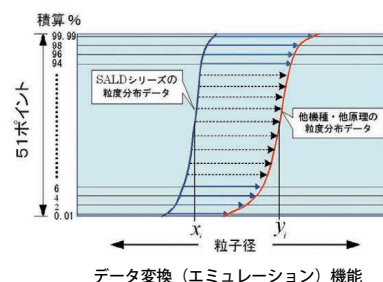
※ 特別価格は「標準据付調整費」を含みません。別途、据付調整費が必要です。その他、ご使用にあたって必要な付属品がある場合は別途お見積りいたします。
※ キャンペーン内容の詳細はお問い合わせください。

多彩なシステム構成が可能な粒子径分布測定装置

SALD-2300 は、湿式測定、乾式測定、高濃度測定に対応した多彩なシステム構成が可能な、レーザ回折式粒子径分布測定装置です。低濃度 0.1ppm から高濃度 20%の幅広い粒子濃度に対応 粒子濃度によって変化する粒子径分布を確実にキャッチ。散乱光検出系の感度アップによって、多機能サンプラ SALD-MS23 や回分セル SALD-BC23（オプション）を用いて 0.1ppm の低濃度から 100ppm 程度までの粒子濃度範囲での測定を実現しました。さらに高濃度サンプル測定ユニット SALD-HC23（オプション）を用いることによって、多重散乱の悪影響を回避し最大 20% の高濃度サンプルの測定が可能になりました。

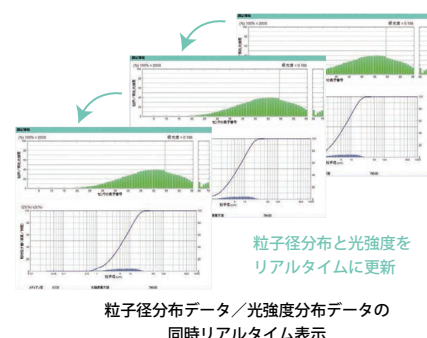


SALD シリーズの測定結果をもとに、他機種、他原理の測定結果のエミュレーション（模倣）を行うことができます。これにより従来の測定方法とのデータ互換性を保つことが可能となります。また自動で粒子径分布計算を実行する「標準モード」、および選択された粒子の事前情報に基づいて粒子径分布計算を実行する「アドバンスドモード」を搭載し、柔軟な粒子径分布解析が可能です。



粒子径分布の変化を高速連続測定

最短 1 秒間隔で 200 データまで連続的に測定し、記録することが可能です。サンプルの時間的変化や分散状態の推移をリアルタイムでモニターすることができます。また統計処理、時系列処理、3 次元表示などを用いて、粒子径分布の時間的変化を多角的に解析・評価することができます。生データである光強度分布データと粒子径分布データの両方を同時にモニタリングできるため、相互に対比をしながらサンプルの状態変化を把握することが可能です。



使いやすいソフトウェア

SALD 専用ソフトウェア「WingSALDII」には、事前に作成した SOP にしたがって PC 制御により測定を行う「アシスト測定機能」や、屈折率の設定をサポートする「屈折率自動計算機能」などオペレータの負荷を低減し、ミスのない確実な測定をアシストする機能を搭載しています。



特設サイトには他のキャンペーン対象機種も多数掲載！
お問い合わせはこちら！

島津150周年記念キャンペーン



本文に記載されている会社名、製品名、サービスマークおよびロゴは、各社の商標および登録商標です。
なお、本文中では「TM」、「®」を明記していない場合があります。
本製品は、医薬品医療機器法に基づく医療機器として承認・認証等を受けておりません。
治療診断目的およびその手続き上での使用はできません。
トラブル解消のため補修用部品・消耗品は純正部品をご採用ください。
外観および仕様は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

株式会社 島津製作所 分析計測事業部 604-8511 京都市中京区西ノ京桑原町1